

日本電気技術規格委員会 令和4年度 事業計画

令和4年2月22日

日本電気技術規格委員会

1. 概要

日本電気技術規格委員会（以下、「JESC」という。）は、平成9年の発足以降、電気工作物の保安、公衆の安全及び電気関連事業の一層の効率化に資することを目的に、公正性、中立性、透明性のある民間の委員会として、民間規格の審議・承認や技術基準等に関する国への要請などの活動を行い、着実な成果を上げてきた。

令和2年7月、経済産業省が「民間規格評価機関の要件」（以下、「新要件」という。）を制定したことを受け、JESCでは改組を実施。そして、第23回産業構造審議会 保安・消費生活用製品安全分科会 電力安全小委員会にて、JESCが新要件に適合している民間規格評価機関であることが確認された。

JESCは、これまでの活動を着実に継承しつつ、新要件に適合する民間規格評価機関として、所要の活動を行っていく。

2. 日本電気技術規格委員会

令和4年度は、JESCの開催を5回予定し、以下の活動を実施する。

（令和4年度の各委員会委員名簿については、表1～表3参照）

（1）民間規格及び国への要請案件に関する評価活動

民間規格等作成機関より依頼された民間規格及び国への要請案件について、評価を行う。また、電気設備の技術基準の解釈に引用されているJESC規格のリスト化及び整理（廃止含む）を実施する。

令和4年度は、以下のとおり10件の案件について審議を行う予定。（詳細は表4参照）

| | |
|-------------------|----|
| ・民間規格 | 7件 |
| ・国の基準へ引用を要請する民間規格 | 2件 |
| ・国の基準の改正要請 | 1件 |

（2）5年以上確認もしくは改定が行われていないJESC規格の対応

今後更なるJESC規格の適切な管理を行う上で、現時点で5年以上、確認もしくは改定が行われていないJESC規格について、今後、当該規格を改定、確認若しくは廃止を行うのかJESCから民間規格等作成機関に確認し、その後適切な対応を依頼する。

（3）規格の国際統合化、国際協力

民間規格の評価に当たって国際統合化に配慮し、必要に応じ諸外国と規格策定に関する協力を実施する。また、電気設備に関するIECの活動状況について関係団体による報告を実施し、必要に応じ国際協力に関する活動を実施する。

（4）日本電気技術規格功績賞の表彰

JESC活動に顕著な貢献があった者を2023年JESC功績賞として表彰を行う。

(5) JESC 未加入団体への参画要請

安定的な財政基盤の確保および電力自由化を踏まえ、幅広い分野・方面から JESC に参画いただくよう、未加入団体への参画要請を実施していく。

(6) 広報活動

ホームページを活用し、委員会活動の透明性を確保し、また、規格利用者への更なるサービス向上を図る。

JESC の改組、資料の電子化の推進、さらに広報活動をより充実させるために JESC ホームページを一部刷新する。

3. 民間規格等制改定プロセス評価委員会

令和 4 年度は、開催を 3 回予定し、JESC で承認された国の基準に関連付ける民間規格等の制改定プロセスが、国の要件に適合しているか評価を行う。

4. 外部評価機関

令和 4 年度は、開催を 1 回予定し、国の基準に関連付ける民間規格等の制改定プロセスが国の要件に基づき適切に運用・維持されているか第三者により確認を行う。

5. 民間規格等作成機関との関係

民間規格等作成機関が、JESC への円滑な審議要請ができるよう必要に応じて支援を行う。また、国への要請案件については、技術基準等に速やかに反映されるよう適切な対応を行う。

6. 外部からの問い合わせ対応

外部からの問い合わせについては、改組後も今まで通り受付を実施する。また、必要に応じて民間規格等作成機関等へ問い合わせへの対応を依頼する。

表1 日本電気技術規格委員会 委員名簿（令和4年2月22日現在）

| 区分 | 委員名 | 勤務先 | 所属 |
|-----------|--------|--------------------------|---------------------------------|
| 委員長 | 横山 明彦 | 東京大学 | 大学院工学系研究科 教授 |
| 委員長 代理 | 大崎 博之 | 東京大学 | 大学院新領域創成科学研究科 先端エネルギー工学専攻 教授 |
| 委員 | 金子 祥三 | 東京大学 | 生産技術研究所 研究顧問 |
| 委員 | 井上 俊雄 | 一般財団法人電力中央研究所 | 研究アドバイザー |
| 委員 | 國生 剛治 | 中央大学 | 名誉教授 |
| 委員 | 野本 敏治 | 東京大学 | 名誉教授 |
| 委員 | 望月 正人 | 大阪大学 | 大学院工学研究科 マテリアル生産科学専攻 教授 |
| 委員 | 横倉 尚 | 武蔵大学 | 名誉教授 |
| 委員 | 吉川 榮和 | 京都大学 | 名誉教授 |
| 委員 | 今井 澄江 | 神奈川県消費者の会連絡会 | 理事 |
| 委員 | 大河内 美保 | 主婦連合会 | 監査 |
| 委員 | 菅 弘史郎 | 電気事業連合会 | 立地電源環境部 部長(保安担当) |
| 委員 | 山本 竜太郎 | 東京電力ホールディングス株式会社 | 常務執行役 |
| 委員 | 川北 浩司 | 中部電力パワーグリッド株式会社 | フェロー（電力技術） |
| 委員 | 高市 和明 | 関西電力送配電株式会社 | 常務執行役員 |
| 委員 | 足立 健治 | 電源開発株式会社 | 水力発電部 部長代理 |
| 委員 | 磯 敦夫 | 一般社団法人日本電機工業会 | 技術戦略推進部 部長 |
| 委員 | 横山 繁嘉寿 | 一般社団法人日本電線工業会 | 技術部長 |
| 委員 | 阿部 達也 | 一般社団法人日本配線システム工業会 | 専務理事 |
| 委員 | 本多 隆 | 電気保安協会全国連絡会 | 事務局長 |
| 委員 | 石井 勝則 | 全国電気管理技術者協会連合会 | 専務理事 |
| 委員 | 西村 松次 | 一般社団法人日本電設工業協会 | 副会長 技術・安全委員長 |
| 委員 | 松橋 幸雄 | 全日本電気工事業工業組合連合会 | 常任理事 |
| 委員 | 松村 徹 | 一般社団法人日本電力ケーブル接続 技術協会 | 専務理事 |
| 委員 | 藤原 昇 | 一般社団法人電気学会 | 専務理事 兼 事務局長 |
| 委員 | 花井 誠 | 一般社団法人日本機械学会 | 発電用設備規格担当 |
| 委員 | 都筑 秀明 | 一般社団法人日本電気協会 | 技術部長 |
| 委員 | 森本 正岳 | 一般社団法人電気設備学会 | 副会長 |
| 委員 | 鶴崎 将弘 | 一般社団法人日本ガス協会 | エネルギーシステム企画グループ 副部長 |
| 委員 | 中澤 治久 | 一般社団法人火力原子力発電技術協会 | 専務理事 |
| 委員 | 爾見 豊 | 一般財団法人発電設備技術検査協会 | 常務理事 |

| 区分 | 委員名 | 勤務先 | 所属 |
|----|--------|--------------------|------------------------------|
| 委員 | 大岡 紀一 | 一般社団法人日本非破壊検査協会 | 顧問 |
| 委員 | 渡邊 道夫 | 一般社団法人日本溶接協会 | 事業部 |
| 委員 | 川原 修司 | 一般社団法人電力土木技術協会 | 専務理事 |
| 委員 | 吉村 光弘 | 一般社団法人日本風力発電協会 | 技術第二部 部長 |
| 委員 | 山谷 宗義 | 一般社団法人太陽光発電協会 | 事務局長 |
| 委員 | 北林 雅之 | 一般社団法人日本内燃力発電設備協会 | 技術部 担当部長 |
| 委員 | 加曾利 久夫 | 日本電気計器検定所 | 理事 検定管理部長 |
| 委員 | 鷺津 雅也 | 一般財団法人電気工事技術講習センター | 業務部長 |
| 顧問 | 関根 泰次 | 東京大学 | 名誉教授 |
| 顧問 | 日高 邦彦 | 東京電機大学 | 大学院工学研究科 電気電子工学 専攻 特別専任教授 |

表2 民間規格等制改定プロセス評価委員会 委員名簿

| 区分 | 委員名 | 勤務先 | 所属 |
|-------|--------|-----------------|---------------------------|
| 委員長 | 日高 邦彦 | 東京電機大学 | 大学院工学系研究科 電気電子工学専攻 特別専任教授 |
| 委員長代理 | 熊田 亜紀子 | 東京大学 | 大学院工学系研究科 電気系工学専攻 教授 |
| 委員 | 若月 壽子 | 主婦連合会 | |
| 委員 | 早田 敦 | 電気事業連合会 | 専務理事 |
| 委員 | 芝田 克明 | 電気保安協会全国連絡会 | 代表幹事 |
| 委員 | 橋詰 源治 | 全日本電気工事業工業組合連合会 | 技術・認証委員会 委員長 |
| 委員 | 高本 学 | 一般社団法人日本電機工業会 | 専務理事 |
| 委員 | 東嶋 和子 | | 科学ジャーナリスト |
| 委員 | 首藤 由紀 | 株式会社社会安全研究所 | 代表取締役 所長 |
| 委員 | 中村 香 | ひなた総合法律事務所 | 弁護士 |

表3 外部評価機関 委員名簿

| 区分 | 委員名 | 勤務先 | 所属 |
|-----|-------|-----------------|------------------------------------|
| 委員長 | 小野 亮 | 東京大学 | 大学院新領域創成科学研究科 先端エネルギー工学専攻 教授 |
| 委員 | 平岩 貞浩 | 一般財団法人日本品質保証機構 | 理事 総合製品安全部門 部門長 |
| 委員 | 岩下 泰之 | 一般財団法人電気安全環境研究所 | 電気製品安全センター所長 経営企画部 統括グループマネージャー |

表4 令和4年度 日本電気技術規格委員会 審議予定案件

| No. | 依頼元 | JESC 番号 | 案件名 | 区分 | 審議 依頼 | JESC の 審議予定 |
|-----|---------------|------------|------------------------------------|----------|----------|----------------|
| 1 | 需要設備専門 部会 | E0005 | 「内線規程」の改定 | 民間 規格 | 5月 | 6月20日 |
| 2 | 配電専門部会 | E0004 | 「配電規程」の改定 | 民間 規格 | 5月 | 6月20日 |
| 3 | 送電／配電専門 部会 | E2016 | 「橋又は電線路専用橋等に施設する電線路 の離隔要件」の確認 | 引用 規格 | 6月 | 8月8日 |
| 4 | 発電専門部 会 | E0003 | 「発電規程」の改定 | 民間 規格 | 6月 | 8月8日 |
| 5 | 発電専門部 会 | E0007 | 「電力貯蔵用電池規程」の改定 | 民間 規格 | 6月 | 8月8日 |
| 6 | 送電専門部会 | E0009 | 「電力保安通信規程」の改定 | 民間 規格 | 8月 | 10月5日 |
| 7* | 水力専門部会 | H3004 | 「水路に使用する樹脂管（一般市販管）及 びその許容応力」の改定 | 引用 規格 | 9月 | 10月5日 |
| 8 | 水力専門部会 | H0002 | 「水力発電設備の樹脂管（一般市販管）技 術規程」の改定 | 民間 規格 | 9月 | 12月7日 |
| 9 | 溶接専門部会 | — | 火技解釈第10章「溶接部」の改正要請 | 改正 要請 | 12月 | 2月20日 |
| 10 | 系統連系専門 部会 | E0019 | 「系統連系規程」の改定 | 民間 規格 | 1月 | 2月20日 |

(凡例)

依頼元：依頼した民間規格作成機関

JESC番号：JESC規格の番号

区分：

- ・「民間規格」……民間規格作成機関が作成した規格
- ・「引用規格」……国の基準へ引用を要請する民間規格
- ・「改正要請」……国の基準の改正要請

※ No.7 は、審議状況により、1年弱程度遅れる可能性あり

表5 令和4年度 民間規格作成機関（専門部会等）別案件の予定件数

| 専門部会等 | 民間規格 | 引用規格 | 改正要請 | 合計 |
|-----------|------|------|------|----|
| 発電電専門部会 | 2 | — | — | 2 |
| 送電専門部会 | 1 | — | — | 1 |
| 送電／配電専門部会 | — | 1※1 | — | 1 |
| 配電専門部会 | 1 | — | — | 1 |
| 需要設備専門部会 | 1 | — | — | 1 |
| 系統連系専門部会 | 1 | — | — | 1 |
| 水力専門部会 | 1 | 1※2 | — | 2 |
| 溶接専門部会 | — | — | 1 | 1 |
| 合計 | 7 | 2 | 1 | 10 |

※1：送電専門部会と配電専門部会の共管規格（JESC E2016「橋又は電線路専用橋等に施設する電線路の離隔要件」）

※2：審議状況により、1年弱程度遅れる可能性あり

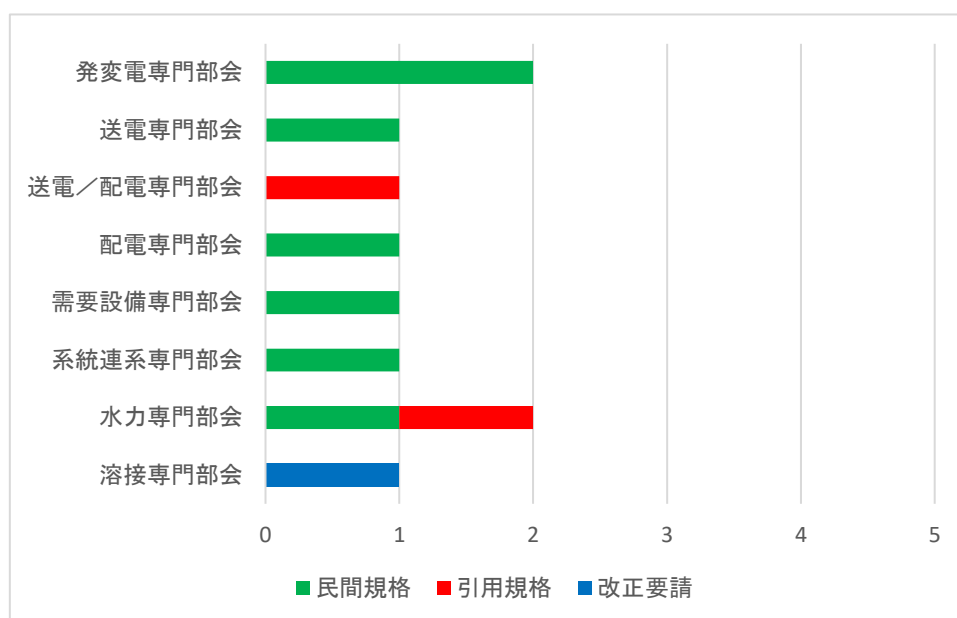


図1 令和4年度 民間規格作成機関（専門部会）別案件の予定件数（表5より）

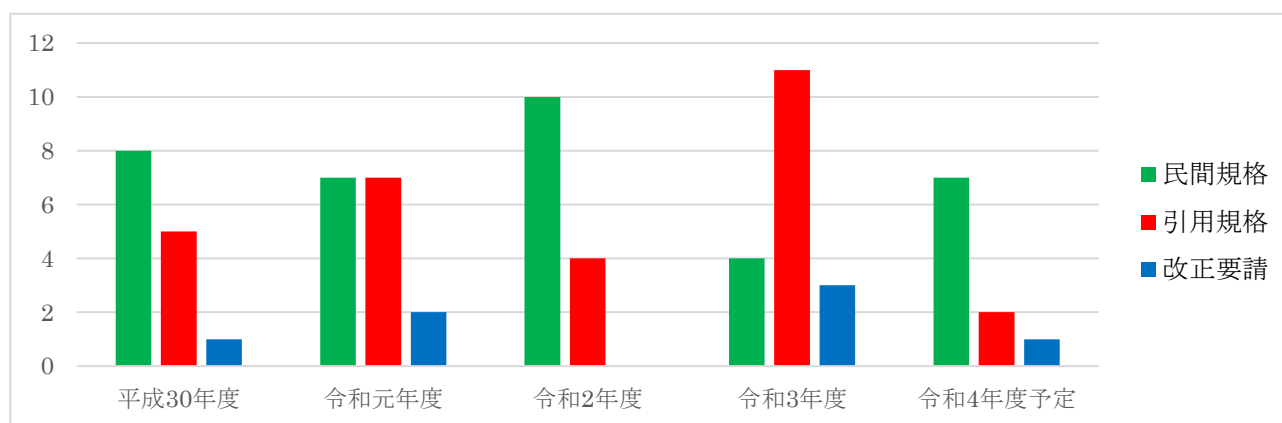


図2 平成30年度～令和3年度 日本電気技術規格委員会で審議、確認した案件数及び令和4年度の予定

参考 令和4年度 民間規格等作成機関（専門部会）開催予定

1. 火力専門部会（1回予定）

- (1) 下記3件の民間規格の改定案を審議する。
- ・「発電用ガスタービン規程」(JEAC 3704-2018)
 - ・「アンモニア設備規程」(JEAC 3712-2018)
 - ・「火力発電所の計測制御規程」(JEAC 3201-2018)
- (2) 火技解釈改正要請の検討結果を審議し、JESC に上程する。
※JESC への上程は、次年度（令和5年度）となる予定。

2. 送電専門部会（1回予定）

- (1) 令和3年度に定期確認した JESC 規格について審議し、JESC に上程する。
- ・「橋又は電線路専用橋等に施設する電線路の離隔要件」の確認 (JESC E2016(2017))
 - ・「電力保安通信規程」(JESC E0009(2017))
- (2) JESC 運営要領に基づき、以下の JESC 規格の確認作業を行う。
- ・特別高圧架空電線と支持物等との離隔距離の決定 (JESC E2002(1998))
 - ・免震建築物における特別高圧電線路の施設 (JESC E2017(2018))
 - ・「架空送電規程」(JESC E0008(2018))
 - ・「地中送電規程」(JESC E0006(2018))

3. 発電変電専門部会（1回予定）

- (1) 「発電変電規程」(JESC E0003(2017)) の改定案について審議し、JESC に上程する。
- (2) 「電力貯蔵用電池規程」(JESC E0007(2014)) の改定案について審議し、JESC に上程する。

4. 配電専門部会（1回予定）

- (1) 「配電規程（低圧及び高圧）」(JESC E0004(2017)) の改定案について審議し、JESC に上程する。
- (2) 「橋又は電線路専用橋等に施設する電線路の離隔要件」(JESC E2016(2017)) の改定案もしくは確認結果について審議し、JESC に上程する。

5. 需要設備専門部会（2回予定）

- (1) 「内線規程」(JESC E0005(2016)) の改定案について審議し、JESC に上程する。
- (2) 「自家用電気工作物保安管理規程」(JESC E0021(2018)) の改定案について審議し、JESC に上程する。
※JESC への上程は、次年度（令和5年度）となる予定。

6. 系統連系専門部会（1回予定）

- 「系統連系規程」(JESC E0019(2019)) の改定案について審議し、JESC に上程する。

7. 水力専門部会（1回予定）

- （1）「水力発電設備の樹脂管（一般市販管）技術規程」（JESC H0002(2016)）の改定案について審議し、JESCに上程する。
- （2）「水路に使用する樹脂管（一般市販管）及びその許容応力」（JESC H3004(2017)）の改定案もしくは確認結果について審議し、JESCに上程する。

8. 高調波抑制対策専門部会（1回予定）

「高調波抑制対策技術指針」（JESC Z0002(2018)）の改定案の検討

※改定案の審議およびJESCへの上程は、次年度（令和5年度）となる予定。

9. 水門扉専門部会（3回予定）

水門鉄管技術基準の改定

10. 水圧鉄管専門部会（3回予定）

水門鉄管技術基準の改定

11. 溶接専門部会（2回予定）

火技解釈第10章「溶接部」に係る課題の検討を行い、改正要望のとりまとめを行う。
とりまとめた改正要請についてJESCに審議を依頼する。

以下の専門部会は休会の見通し。

- ・溶接及び接合専門部会
- ・個別施設設備専門部会
- ・情報専門部会